

## 茅ヶ崎方式 岐阜駅前校

### 茅ヶ崎方式とは？

1981年に神奈川県茅ヶ崎市で、当時のNHK国際放送記者4人により茅ヶ崎方式英語会が創設されました。「英文記者として身に付けた方法を普遍化して一般の人達にも役立つようにしたい」との思いから、Listeningを基盤とする「茅ヶ崎方式英語学習法」が確立されました。その後、「日本人の英語コミュニケーション力の向上」を願って協力校での「学習会」が始められました。現在、全国の140以上の教室で、10,000人以上の学習者が茅ヶ崎方式で英語学習に取り組んでおられます。

また、茅ヶ崎方式英語会の編集する「国際英語基本 4,000語」「国際英語教本 Book1～5」は、全国の多数の大学や専門学校で教材に採用され、高い評価を得ています。

### 茅ヶ崎方式英語学習法は…

特徴 1 まず、聴く力に重点をおいています。

「聴けない言葉は話せない」という原則から、言語習得の最も自然な形であるリスニング力を徹底して鍛えます。

特徴 2 独自に厳選された 4,000語を使用語化します

「知らない言葉は聞き取れない」ということから、内容のある対話をするために必要十分な 4,000語を、使えるレベルまでに高めます。

特徴 3 国内外の最新ニュースが教材です

各クラスの教材の内容は、誰もが知っている話題のニュース。地球上から核兵器はなくなるか、世界経済の動きは、地球環境はどう変化するのか・・・スポーツから、安全保障に至るまでの多岐多様なニュース教材で学習意欲が高まります。

特徴 4 実際の会話にすぐ使えるラジオニューススタイル

NHKのRadio Japanで英語ニュースを30年間書き続けた元記者が、話し言葉に近い、いきいきとしたラジオニューススタイルで、毎週、簡潔・明快に書き下ろしていますので、教室で学んだことがすぐに、仕事に、日々の会話に。活かされます。

特徴 5 国際化時代に必要な真の英語力が身につきます

学習者の英語レベルにあったニュース教材で、着実に聴く力と語彙力をつけ、これを話す、読む、書く力に発展させます。挨拶や自己紹介だけで終わらない、本格的な英語力を習得することができます。